

福証Qボード上場で地場大手への営業強化

VRシニアター製造販売ではアジア展開にも意欲

(株)ピー・ビーシステムズ



とみた かずひさ
富田 和久 社長

福岡市東区出身。1963年7月17日生まれの56歳。九州大学経済学部卒。86年野村コンピュータシステム(株)(現株野村総合研究所)に入社し、システム開発職に従事。その後福岡にUターンし、92年に(株)シニアシステムズ入社。97年2月に(株)ピー・ビーシステムズを独立創業。趣味は読書、音楽

企業の基幹システムのクラウド化を手がける(株)ピー・ビーシステムズ(福岡市博多区東比恵3丁目)は9月12日、福岡証券取引所Qボードに単独上場した。国内のクラウドサービス市場が拡大する中、システムのプライベートクラウド化に特化した展開で、技術力を磨いてきた同社。上場を機に現在の約3倍となる売上高50億円規模への成長を目指し、エンジニア増強に取り組んでいる富田社長に上場の狙いと今後の展望を聞いた。

(取材/小川晴子)

「9月12日に福証Qボードへ上場されました。感想を聞かせてください。」

富田 上場承認から実際の上場を待つ1カ月間が長く感じ、待ち遠しい気持ちでした。IPOは以前から意識していましたが、組織力を高めて幹部の意識改革に取り組みなど時間をかけて準備してきました。ここから魅力的な拡大を目指すとともに、

地域経済へ良い変化が与えられる存在になれたらと思います。これからステップアップしていくことが前提ですので、地場大手企業を中心に接点を増やして知名度を向上させたいですね。――初値は公開価格を41%上回る1950円でした。調達資金はどう活用されますか。

富田 もう少し上回ることを期待していましたが、株価がつき客観視できることで上場した

ことへの実感がわきました。調達資金はエンジニア採用に活用していきます。1年で10人ほど技術者を確保していく予定です。Uターン・イターンも含めて福岡で働きたいという人材を採用していきたいですね。

活況な国内クラウドサービス市場で存在感発揮

――主力業務であるセキュアクラウドシステム(SCL)事業についてお聞かせください。

プライベートクラウドと呼び、企業・団体向けのシステムのプライベートクラウド化を中心に、企業のシステム全般を対象としたサービスを展開しています。クラウド化については通信回線障害でシステムの利用が不可能になるなどのリスクがあるため、

刷新を進めています。システム投資に注力する中堅企業を中心にアプローチしていますが、地場の大手企業との取引はまだ少ないのが現状です。九州地域でのロイヤルカスタマー獲得を目指し、上場を機に営業を強化していきます。

――何を強みに営業を強化されますか。

富田 クラウド化を実現するための主要ソフトウェア会社の製品を熟知しており、各社製品の特長を生かしたソリューション提案が可能です。特に仮想化ソフトウェアの世界企業であるシトリックス社との連携が強く、シトリックス社からスペシャリストとして認定された分野数において国内首位です。

――新たな柱として、エモーションナルシステム(EMO)事業の展開を進められていますね。これはどういう事業ですか。

富田 VRシニア「4D王」の製造販売事業です。360度のスクリーンに切れ目なく3D映像を表示するもので、偏光眼鏡を着用するだけでVR空間を

体験できるため子供から高齢者まで幅広い世代の利用が可能です。遊園地や科学館などで設置されているほか、工場見学などさまざまな用途で応用できるのが、新たなコンテンツ制作や改良に励んでいきます。アジア向けの展開も進めたいと考えており、海外企業との連携を模索中です。

――19年9月期決算はいかがでしたか。

富田 売上高が前年同期比19.7%増の17億7800万円、経常利益が同8.8倍の1億2600万円でした。18年9月期はEMO事業の不振でいったん落ち込みましたが、営業方針と体制の立て直しに取り組みました。SCL事業は企業の業務効率化を目的としたIT技術の需要が大きく、SaaS事業者向けの基盤構築なども加わって順調に推移しています。EMO事業も博物館や科学館向けの営業を強化したことで「4D王」の新規販売が好転し、今後は防災関連施設向けの販売にも取り組んでいく方針です。

(株)ピー・ビーシステムズ			
【本 社】	〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-3-24		
【TEL】	092-481-5669 【FAX】 092-481-2286		
【設立】	1997(平成9)年2月【創業】1997(平成9)年2月		
【資本金】	2億1,326万円		
【銀行】	福岡比恵 三菱UFJ 西日本シ比恵 宮崎太陽 北九州		
【役員】	(社)富田和久(取)彌永玲子 森崎高広(社外取)枇杷木秀範 工藤広太(監)大原和司 八尋光良 村本充 池田登		
【事業】	セキュアクラウドシステム構築 VR/ARシステム製造販売		
【仕入先】	SB C&S ダイワボウ情報システム アセンテック デル		
【販売先】	エヌ・デーソフトウェア ミロク情報サービス 天方産業 きもと JIMOS		
【取扱構成】	セキュアクラウドシステム92.8% エモーションナルシステム7.2%		
【業績】	売上高(千円)	経常利益(千円)	従業員
17年9月	1,591,790	89,385	45
18年9月	1,485,725	14,396	48
19年9月	1,778,068	126,933	48

※弊誌別冊「福岡の会社情報」データベースより

――今後の業績面での目標は。

富田 売上拡大を意識し、まずは売上高50億円、経常利益5億円を目標としています。また、EMO事業の売上高は現在1億2700万円ですが、ゆくゆくは全体の3割ほどを占められるよう比重アップを図っていきます。上場により第2創業期のスタートとしての意識が明確となりました。クラウド市場の旺盛な需要に対応できる企業基盤の強化に取り組むとともに、各セグメントでの新規開拓と営業拡大に努めていきます。